

二木てるみ 朗読会

音楽と朗読「語りの小部屋」

作品：『アンジェリーナ～
佐野元春と10の短編』より『アンジェリーナ』（小川洋子・作）

※内容は変更になる場合がございます



朗読：二木てるみ



音楽：池山由香 (アルパ)

開演日 **6月30日** (金)

お食事提供 18:00～

朗読と音楽 18:30～

19:50 終演予定

定員 **60名**

会場

公益財団法人モラロジー道德教育財団
キャンパスプラザ 会員会館
レストランまんりょう

料金 (全席自由)

6,000円 (1ドリンクと松花堂弁当付き)

ご予約について (キャンセルは6月27日まで)

①申込フォームにて (右QRコード)

②レストランまんりょうにて

電話 **04-7173-3558**

火曜日～日曜日 10:00～16:00



二木てるみ (にき・てるみ)

1953年3歳で劇団「若草」に入団。同年、『明日はどっちだ』で映画デビュー。続いて黒澤明監督『七人の侍』に村の子供の一人として参加。1955年、久松清児監督『警察日記』に主人公に引き取られる捨て子役で出演。1965年『赤ひげ』おとよ役で第16回ブルーリボン助演女優賞を史上最年少の16歳で受賞。1970年代後半にはアニメ声優としても、1975年放送の『ラ・セーヌの星』では主人公シモーヌを、1976年放送の『ゴワッパー5 ゴードム』でも主人公の岬洋子を演じている。1974年村山三男監督『樺太 1945年夏 氷雪の門』、1987年NTV中国残留孤児を扱った『赤い夕日の大地』で、日本の放送文化に貢献した番組、個人、団体に贈られるギャラクシー賞受賞。このほか、映画、舞台、テレビ、ラジオ、声優などの分野で幅広く活躍。

役者の原点でもある「語り」をライフワークとし、大・小のステージで分野の異なるアーティストと共演を続ける。2006年博品館劇場にて「江戸に生きる会」主催の朗読会で加藤武、丹阿彌谷律子、若葉要と共演。2008年より10年続けた音楽と朗読劇『Dear' あなたへ読む物語』は芝居未満、朗読以上という二木独自の語りのスタイルで好評を博した。

現在 SBS 学苑 (静岡・沼津校)、読売文化センター (荻窪教室) 朗読講師。著書に『あなたを見ていると、子供の頃を思い出します』(けやき出版)。